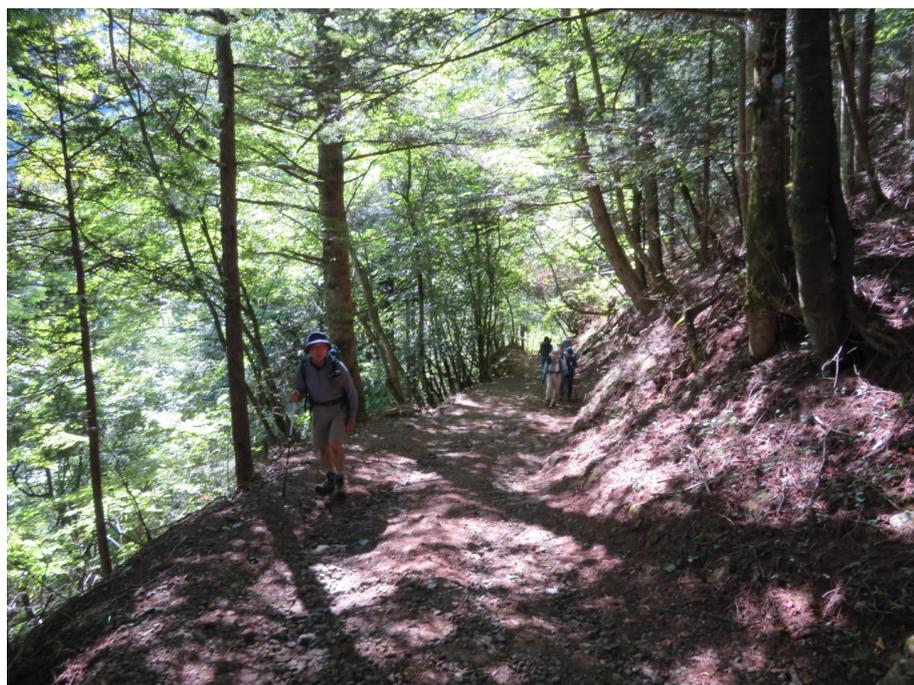


裾野麗峰山の会・山行報告書		文・合谷	写真・後藤
山行番	NO. 1988		
日時	2022/8/10 (水) 晴れ		
山域	三ツ峠山 (1785m)		
コース	金ヶ窪沢登山口 8:10 - 三ツ峠山 9:45 - 三ツ峠山荘 (昼食) 10:00 ~ 11:00 - 林道分岐 (西登山口) 12:00 - 金ヶ窪沢登山口 12:30		
標高差	上り 金ヶ窪沢登山口 1290m ~ 三ツ峠山 1785m = 約 495m 下り 三ツ峠山 1785m ~ 金ヶ窪沢登山口 1290m = 約 495m		
快適度	5 (5段階評価)		
参加者	後藤、加藤、伊藤、鈴木、長谷川、合谷 = 6名		

毎月第2水曜日は伊豆巡礼の日 (8月は10日、現在私は参加していない) であるが、猛暑のため巡礼は中止。

その代わりに有志で三ツ峠山のお花 (レンゲショウマ・蓮華升麻) を目的に山行が計画されたので、花に興味のない私は花を見てもほとんど名前も判らないが、最近の運動不足を解消すべく、久しぶりに参加した。



林道

(実は8月7日にも宝永山の山行にも参加したが、2月ぐらいから左肩が痛くて4月に検査してもらったところ左肩の腱板が断裂していることが判って、5月下旬に御殿場の虎ノ門病院で手術をしてもらったこともあり、3月から7月まで山行に参加していなかった)

後藤さんの車で6時過ぎに裾野市役所でピックアップしてもらい、途中忍野のワタナベさん (後藤さんの知り合い) 宅でトウモロコシを購入して8時過ぎに金ヶ窪沢登山口に到

着。

登山口は標高1290mあり、少し涼しく感じたが、林道を登り始めるとやはり夏山なので、汗が吹き出し始めた。

45分程林道を登ったところで、林道を外れてバリエーションルート（カラマツ林）に入った。



マルバダケフキ（丸葉岳蔞）

何でこんな足場の悪いルートに行くのかなと思ったが、昔はこのルートに今日の目的であるお花（レンゲショウマ）が咲いていたようである。

しかし、今日はレンゲショウマは全くなくて、咲いているのはマルバダケフキという黄色い花だけだった。

おそらく、レンゲショウマは鹿に全部食べられてしまい、鹿の食べないマルバダケフキだけが咲いている状態になってしまったようである。

30分程バリエーションルートを登り、林道に出たが相変わらず花は少く、林道の柵内にはかろうじてソバナが揺れている程度であった。

しばらく、林道を登って行くと立派な歩道があり、その歩道を登り上がって行って9時

50分に山頂に到着した。

山頂で皆一緒の記念写真を取り、少し下って富士山の眺望が抜群な三ツ峠山荘で早い昼食にした。



レンゲショウマ（蓮華升麻） 2011/08/19

山荘には3匹の甲斐犬がいて、そのうちの一匹が機嫌が悪いのか後藤さんに今にも飛び掛かりそうな勢いで激しく吠えていた。
こんな気性の荒そうな犬が3匹もいれば熊や鹿は山荘には寄り付かないだろうと思った。
1時間程ゆったりと富士山を見ながら昼食を取ってから西側の登山道を下った。
途中の柵内にはお花は少しは咲いていたが、目的のレンゲショウマは全く咲いていなかった。



甲斐犬



山頂

1時間程登山道を下り、林道に出てからさらに30分程で下って、13時30分に出発点の金ヶ窪沢登山口に到着した。

今回は山行目的のレンゲショウマは見る事が出来なかったが、病み上がりの私にとっては体力的には丁度よい山行であった。



その他の記述（後藤）

1. 記録では、2011/08、レンゲショウマは沢山咲いていた。今回、皆無だったが、ここ10年で急速に減少したと思われる。
2. 山頂に至る道が、以前の泥道から、完璧な階段になった。幅も広いので、両脇も掘削された。この辺りには、シモツケなど咲いていたが、全く見られなかった。
3. 下山中、三ツ峠山荘の若い衆と会った。聞けば、やはり鹿食害が酷いようだ。小屋周辺で見られた、マツムシソウも見られなかった。
4. 初めて、木無山から西登山口に下った。ここもレンゲショウマが咲きそうな環境だったが、全く見られなかった。あったのは、「タマゴダケ」のみ。
5. 下山後、駐車場で大分から来た方とお話。三ツ峠山って、「二百名山ですが、酷いですね」だった。理由は、荒廃したお化け屋敷みたいな小屋、荒れた林道だった。しかし、三ツ峠の良さは、達磨石経由だったり、御巢鷹山、北尾根だったりだ。「そちらは素晴らしいですよ」と進言した。

以上